

大牟田市立白川小学校

1 本校のESDの特徴

本校は大牟田市のほぼ中央部に位置しており、学校のすぐ近くを国道が通り、大型商業施設やマンションが建ち並び、周囲には住宅が密集している。自然環境にふれ合う機会は少ないが、学校には、市内で一番広い運動場があり、樹木がたくさんある。さらに、地域には、白川校区に長く住み、住みよいまちづくりに取り組む人が多い。また、本年度は7月に豪雨災害に見舞われ、たくさんの方が被害に遭った。そこで、安心して住み続けられる校区を目指して、減災・防災について幅広く学び、子どもが予測不可能な自然災害に備えて適切な判断と行動を行えるようにするための基礎を構築することを目的とし、その実践に取り組んでいる。

そこで、地域の特色を生かして、「住みよいまちづくり」をテーマに、SDGs 3「すべての人に健康と福祉を」、11「住み続けられるまちづくりを」に関わる課題を主に取り上げ、低学年では「生活科」、3～6年では「総合的な学習の時間」を中心に、次のような点に配慮しながら学習を進めている。

- 〈生活科〉 → 地域の人やもの、自然とのつながりを大切にする。
- 〈総合的な学習の時間〉 → 「環境」「福祉」「減災・防災」という視点から、校区のよさや問題点を見つけ主体的に活動する単元を設定し、「住みよいまちづくり」につながるように指導していく。

〈めざす子どもの姿〉

- 現代の社会や自分たちの行動が未来につながっていることを認識する子ども
- 身の回りの人や世界とのつながり、自然環境との関係を尊重する子ども
- 主体的に問題をとらえ、解決していこうとする態度を持つ子ども

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

テーマ：「住みよいまちづくり」

学 年	内 容	教 科	時 期
1 年	「花いっぱい白川」【SDGs 15】	生活科	5～12月(20時間)
2 年	「もっと行きたいな町たんけん」【SDGs 11】	生活科	10～12月(19時間)
3 年	「白川校区のじまん隊」【SDGs 11】	総合的な学習の時間	5～7月(24時間)
	「伝え合う心」【SDGs 3】	総合的な学習の時間	10～12月(15時間)
4 年	「ゴミ減量大作戦ⅠⅡ」【SDGs 11・12】	総合的な学習の時間	5～2月(31時間)
	「減災・防災教育」【SDGs 11】	総合的な学習の時間	9～12月(12時間)
5 年	「白川の緑を守ろう！」【環境・エネルギー】	総合的な学習の時間	4～1月(25時間)
	「減災・防災教育」【SDGs 11】	総合的な学習の時間	10～1月(10時間)
6 年	「ジュニア民生委員・児童委員として、将来の大牟田を考え、自分にできることをしよう」【SDGs 3・11】	総合的な学習の時間	9～11月(15時間)
全学年	「ペットボトルキャップ色分け」「落ち葉拾い」 (ボランティア) 【SDGs 2・15】	生活・総合 課外	9・1月(2時間) 通年

3 特徴的な活動事例の紹介

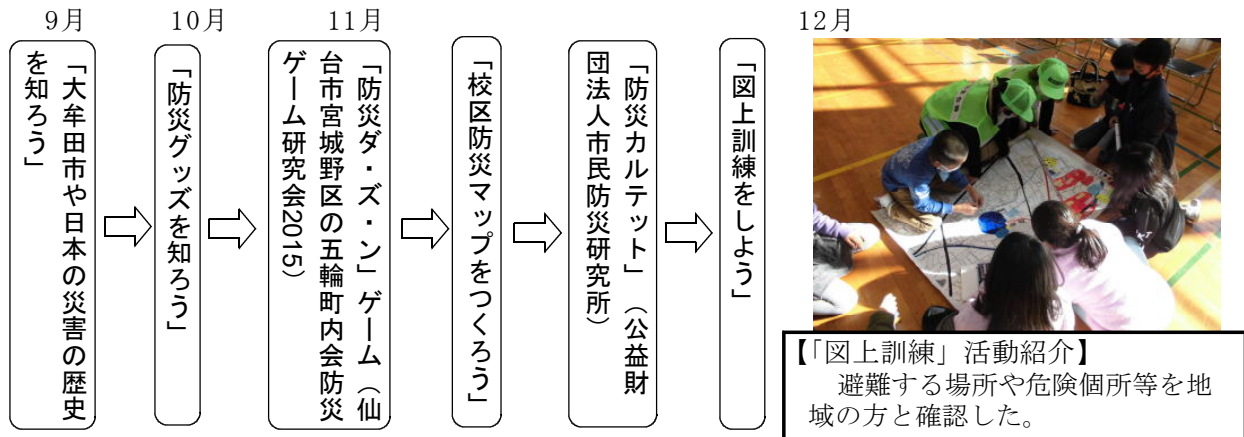
< 4年生 総合的な学習の時間 単元名「防災マップをつくろう」12時間(9月~12月)>



(1) 目標

- 豪雨災害の経験から減災・防災に関心を持ち、自分から進んで資料を集めたり、危険箇所を探したり、事前の備えについて考えたりする活動を通して、現在の生活を見直し、自分たちにできることはないかを考え、白川校区のためにできることをやってみようとする意欲を持つことができる。
- 水害について調べることで、気付いた問題やその解決方法について、調べたことや考えたことを「防災マップ」にして地域の方にも伝える。

(2) 実践の展開



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・SDGs 11「住み続けられるまちづくりを」の達成のため「住みよいまちづくり」をテーマに、ESDを実践することができた。
- ・社会科の学習と関連づけ、災害の経験を生かすために、地域との「つながり」を大切にした活動を意図的・計画的に仕組んだことは、主体的に学ぶ子どもを育てる上で有効であった。
- ・見通しが立たずどうすればよいか迷った時に、GTの的確なアドバイスや図書室の本で調べる活動を取り入れたことで、自分の課題に対し自信を持って活動し、解決の方向性を見つけ出すことができた。
- ・子ども達だけでは限られてしまう情報収集が、地域の方と一緒に活動したことで多面的に情報収集できた。
- ・主体性を意識した学習を仕組んだことで、問題解決への見通しをスパイラル的に進めることができた。
- ・人と「つながり」ながら、自分の思いを、「一人で」「グループで」「家族で」「全員で」と様々な形態を取り入れたことにより、「自分にもこれならできる」と主体的に自己選択をしたり、行動したりする姿が出てきた。

○課題

- ・今回の学習で、地域の方と一緒に活動を進めることができたので、次は、より広く発信できるように地域も保護者も一緒に考えて、無理なく実践できる学習を進めていく必要がある。
- ・校内での防災マップの掲示の仕方も含め、下級生の減災・防災に対する意識を高める必要がある。